



出演者プロフィール

◆^{うえの こうへい}上野耕平 (サクソフォン)

茨城県東海村出身。8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。

指揮者山田和樹氏には「耕平は、1音を聴いただけで、ただ者ではないと思った！」またボストンポップスオーケストラの音楽監督であり指揮者である Keith Lockhart には「サクソフォンのこんな音聴いた事がない。目が飛び出るほど驚いた！」と言わしめた。

第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。2014年第6回アドルフ・サククス国際コンクールにおいて、第2位を受賞。現地メディアを通じて日本でもそのニュースが話題になる。また、スコットランドにて行われた第16回世界サクソフォンコンGRESSでは、ソリストとして出場し、世界の大御所たちから大喝采を浴びた。2016年のB-C公演では、全曲無伴奏で挑戦し高評価を得ている。

常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。

現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ演奏活動のみならず、「題名のない音楽会」「情熱大陸」など、メディアへの出演や、サクスカルテット「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽「ばんだウインドオーケストラ」のコンサートマスターとしても活躍中。

CDデビューは2014年「アドルフに告ぐ」、2015年にはコンサートマスターを務める。

ばんだウインドオーケストラを2017年には The Rev Saxophone Quartet のデビューCDをリリース。2017年12月には3枚目のソロアルバム無伴奏バッハ「BREATH」をリリース。2018年11月に The Rev Saxophone Quartet のセカンドアルバム「FUN！」をリリース。

昭和音楽大学の非常勤講師。

2018年第28回出光音楽賞受賞。2018年第9回岩谷時子賞 奨励賞受賞。

OfficialHP <http://uenokohei.com>

◆^{やまなか あつし}山中惇史 (ピアノ)

©Ayane Shindo

1990年生まれ。愛知県岡崎市出身。

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。

在学中、指揮科、弦楽科ティーチングアシスタントを歴任。

作曲を糺場富美子、安良岡章夫、鈴木純明各氏に師事。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲一般の部第3位。

東京藝術大学木曜コンサート（室内楽作品）及びモーニングコンサート（オーケストラ作品）に選ばれる。

2013年、ユーロアジア国際コンクール課題曲として作曲した「Danza」がコンテストによって初演され、公式伴奏者も務めた。「JR岡崎駅イメージソング」(2013)「岡崎市立翔南中学校校歌」(2014)「祝典行進曲」(2016 岡崎市制100周年記念、岡崎スクールバンド協議会委嘱)など、出身地である岡崎市への楽曲提供も数多く行う。器楽、室内楽、合唱など多数がヤマハミュージックメディア、カワイ出版などから出版されている。

またピアニストとしては、上野耕平、漆原朝子、漆原啓子、川井郁子、ゲルノット・ヴィニッシュホーフナー、清水高師、ピエール・アモイヤル、寺谷千枝子、三縄みどり、松本蘭各氏をはじめとする国内外のアーティストと共演を重ねている。2014年、小川響子氏とのデュオで第2回デザインK国際音楽コンクールにてグラン

プリ受賞。編曲の分野に於いても担当したアーティストはクラシックからポップスまで幅広い。

ピアニスト、作曲家、アレンジャーとして参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。メディアではNHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、TBSラジオ「文学の扉」、NHK「クラシック音楽館」、「ムジカ・ピッコリーノ」、日テレ「嵐にしやがれ」などに出演。現在、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻に在学し研鑽を積む。これまでにピアノを森陽子、山泉薫、菊地裕介、白石光隆、安野直子、江口玲の各氏に師事。

Twitter @ginyamagin / Instagram @yamanaka.atsushi

バロー文化ホール (多治見市文化会館)

TEL 0572-23-2600

〒507-0039 岐阜県多治見市十九田町 2-8

<http://www.tajimi-bunka.or.jp/bunka/> (9:00-21:30 火曜休館)

【鉄 道】JR中央本線多治見駅(名古屋より快速で40分)北口から徒歩12分

改札を出て左折し、北口階段を下りてください。線路を背にして800m直進します。精華小学校を過ぎ、国道19号線手前の右方面が「バロー文化ホール」です。

【自動車】中央自動車道「多治見」ICより約10分 / 東海環状自動車道「土岐南多治見」ICより約15分

※ 駐車台数に限りがございます(200台収容可能)。公共交通機関でのご来館に御協力ください。

※ 駐車場が満車の場合は、駅北立体駐車場を御利用ください(有料)。

